

2020年度の事業報告書(案)
2020年7月1日から2021年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業:

コロナ禍で困窮する当事者や現場の声を伝える情報の発信に努めた。「出来ればコロナで苦しんでいる人たちに役立ててほしい」というお便りとともにご寄付をいただき、昨年度に引き続いて、コロナ禍の影響で仕事や住まいを失う等の窮状にある方々、そうした当事者と直接つながって支援をされている団体に寄付を実施した。

また数年前から準備を続けてきた認定NPO法人の申請を行い、11月に京都市から認定を受けた。これをステップにさらに「わかちあい」を形にしていくために、ホームページを改修し「使途指定寄付」の仕組みを新設した。

〇2団体に合計100万円の「わかちあい」寄付を実施した(2021年2月)

しんぐるまざあず・ふぉーらむの「だいいじょうふだよ基金」に50万円、フードバンク関西に50万円。

〇(2021年6月)滋賀県のブラジル人学校「サンタナ学園」への「使途指定寄付」を決定、開始した。ホームページ等で「サンタナ学園・応援プロジェクト」の呼びかけをおこない、集まった寄付を全額「サンタナ学園」に届ける。プロジェクトはNPO法人「コレジオ・サンタナ」と連携して実施する。(最終集約は2021年11月末)

▼情報などの事業:

情報交換や会員交流に努め、わかちあいと共に共感する人のつながりを築いた。交流掲示板、通信発行、メルマガの発行、事務局ブログを通して当会の活動や寄付先の現場からの情報を発信した。わかちあいの裾野を広げていくためにホームページを改修、スマホ対応、クレジット寄付の機能も取り入れる基盤整備を実施した。

▼全体として: 発足から14年余の寄付の総額は 31,156,572円になった。(2021年6月末現在)

コロナ禍の影響で思うように人に会えないことが続いた1年だった。わかちあい祭りなどの催しや対面の会員交流の場も中止を余儀なくされた。人とのつながりが希薄になっていくことの心もとなさ、人との出会いやつながりのありがたさを実感する1年でもあった。そのなかで、小さな一人の思いが役立つこと、皆の思いが集まれば大きな力になること、そんな寄付・支援の実績を積み上げた。その活動を介して、ゆるやかなわかちあいのネットワークを紡いだ。

認定NPO法人となり、より信頼性の高いNPO法人として、寄付者が税制上の優遇措置を受けられるようになった。この信頼に応え「困った時はお互い様」の気持ちをさらにつないで形にし、現場に届けていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
情報などの交流を促進する事業	ウェブサイト、事務局ブログを通じて、わかちあい、困った時はお互い様の輪を広げる情報発信、交流を図る。メルマガ(月1回)、通信(年2回)の発行。	通年	法人事務所等	15人	不特定多数
生命と自立を支える事業	▼2団体に合計100万円を寄付 〇しんぐるまざあず・ふぉーらむ 〇フードバンク関西	2021 2・5	法人事務所等	15人	不特定多数
	▼サンタナ学園への使途指定寄付を決定	2021 6・23	法人事務所等	15人	サンタナ学園の子どもたち

◆生命と自立を支える事業 ドネーションシップ・プロジェクト（2020年7月～2021年6月末）

第20回「わかちあい」～コロナ禍で困難な状況にある方々へ～ 2団体に 合計100万円 を寄付（2021年2月）

※2020年6月、コロナ禍で窮状にある方々を支援する4団体に合計200万の寄付を実施したが、その後も緊急事態宣言下で厳しい状況が続いている。今年に入って会員の方からのお便りを受けて、再度コロナ禍で窮状にある方々への寄付を検討。当事者と直接つながって支援活動を続けている「フードバンク関西」「だいじょうぶだよ基金」の2団体に各50万円、合計100万円の寄付を決定、実施。(2/5送金)お互い様の気持ち、私たちのわかちあい支えあいの気持ちを現場に届けることができた。

収束の見えないコロナ禍。必要最低限の衣食住にも困窮する方々の多さに心が痛みます。
自分自身がそうならないとも限らない不安の中、より困難な方の助けになればと思います。
一人一人の小さな優しさが、やがて大きな力となって次の支え合いにつながること、
わかちあい、助け合いが当たり前の中になることを願っています。

ある会員さんの言葉です。それは多くの市井の人々の思いでもあるでしょう。
ポストコロナの時代をわかちあいと支えあいの時代へ。

●フードバンク関西 <https://foodbankkansai.org/>

困窮者支援、ひとり親支援などの当事者団体を通じて、現場や当事者とつながり食料を届けておられます。コロナ禍での緊急食糧支援も実施されています



▼支援実績 コロナ禍緊急食支援プロジェクト

※2020、5～7月のプロジェクト（報告書より）
食糧支援申込受付数は1214件（世帯） 受益者4,323人
発送した食品の総重量 約12トン強（米4.2トン）

●だいじょうぶだよ基金 <https://www.single-mama.com/daijoubudayo/>

コロナで大変なひとり親の親子を支援するための基金。しんぐるまざあず・ふぉーらむのプロジェクト

▼お礼のメッセージ、資料とお手紙より

この度はご寄付いただき、心より感謝申し上げます。2/5郵便口座にご入金、誠にありがとうございます。おかげ様で昨年3月よりコロナ禍で厳しいひとり親家庭の親子へ毎月約2000世帯に食品パッケージをお送りすることができました。届いたご家庭から「食材は勿論、気持ちの面でも支えられています。本当に「だいじょうぶだよ」って言われているようです。」「高校進学を控えた子どもは、おかげさまで体調万全で試験に臨むことができました。」などのお声をいただきました。まだまだ厳しい状況が続いておりますので、支援を続けてまいります。今後も 当団体の活動を応援していただけましたら幸いです。

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ(事務局)

▼私どもの食料支援は10月～12月には、二千百世帯(毎月)を越え、今も助けを求めるメールや電話が相次いでおります。どんな家庭に生まれても、子どもたちは十分な食事、教育、遊び、チャンスが与えられなければなりません。来年度以降も支援を続けるためにお力添えいただければ幸いです。

～ひとりできることは小さいけれど

みんなの力をあわせれば 世界に笑顔がひろがっていく～

発足から13年余の寄付の総額は31,156,572円になりました！

◆活動日誌 (2020年7月～2021年6月末)

～総会に向けての事業報告書、会計報告書の作成。並行して認定NPO法人書類準備～

7月21日 ドネ通信24号発送

8月6日 京都市に認定NPO法人の申請書提出

8月22日 通常総会(呉竹文化センター)～事業報告、会計報告他～

コロナ感染対策で少人数開催とし、委任状と書面表決での総会参加をお願いする

9月1日 京都市役所担当者による<実地調査>

9月13日 京都亀岡のTさんの畑で、福島のみまわり栽培の作業手伝い(有志)

10月10日 ドネ会(拡大理事会) 代表理事の選出、認定NPO、ホームページ改修について他

11月11日 認定NPO法人の認証書交付(京都市役所にて) 今後の事務手続きについてレクチャー

11月18日 311メモリアルキャンドル向島実行委に参加

11月29日 今後の会計、事務手続きについて打ち合わせ

12月7日 新ホームページについて相談

12月9日 会員さんに認定NPO法人のお知らせ発送(HPリニューアル募金呼びかけ)

12月12日 運営会議を掲示板開催(HPIについて他) (コロナの影響で対面のドネ会は中止)

12月26日 京都NPOセンター専門家相談

1/14 ドネ通信25号発送 ～対象者には寄付金受領証明書を同封～

1/29 新HP打ち合わせ(篠山、PC便利屋)(2/26も打ち合わせ)

2月5日 <運営掲示板での理事会> 寄付先選定委員会 コロナで窮状にある方へ、第20回わかちあい決定、実施

フードバンク関西、しんぐるまざあず・ふぉーらむ 2団体に各50万円

3月1日 新HPがオープン(スマホ対応、クレジット決済可)

3月7日 いのちと暮らし映画祭・神戸に参加(フードバンク関西挨拶)

3月11日 3.11メモリアルキャンドルに参加～避難者さん、地域の人たちと～

3月20日 守田敏也さん講演会(311実行委)

4月3日 京都NPOセンター zoom講座

4月10日 運営会議を掲示板開催(コロナの影響で対面のドネ会は中止)

4月24日 ひまわり大使交流会(豊中)

(オンライン開催に有志参加) 4/30生田さん対談、5/6鳥井一平さん講演、6/13しんま活動報告会

5月30日 亀岡Tさんのひまわりプロジェクトの畑の応援(有志)

6月12日 運営会議を掲示板開催(年度末について、使途指定寄付について)(コロナの影響で対面のドネ会は中止)

6月18日 滋賀のブラジル人学校「サンタナ学園」訪問

6月22日 <運営掲示板での理事会> 寄付先選定委員会 サンタナ学園への使途指定寄付の実施を決定

～使途指定寄付の呼びかけを作成、NPOサンタナ学園とも連携しながら進める～

(7月10日 ホームページに呼びかけを公開、スタート)

.....

※今年度はコロナ感染拡大の影響で、昨年に続いてわかちあい祭りを中止、対面でのドネ会も中止せざるを得なかったが、その一方で、認定NPO法人の申請、ホームページのリニューアル等の活動基盤の整備を進めることができた。

またこの新たな土台を生かして、最初の「使途指定寄付」の呼びかけ「サンタナ学園応援プロジェクト」をスタートした。(チラシ参照)

※チラシPDF↓

<http://web2.nazca.co.jp/hukusima1/santana5.pdf>

スマホ対応、クレジットカード決済も取り入れた新しいホームページ

